

地区目標

ロータリーにもっと誇りを
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：奉仕の理想

◆司会：武田 博文 S.A.A.

◆会場：パレスグランデール



第3024回例会

令和6年8月26日(月)

会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



本日は夜例会ということでお集まりいただきまして本当にありがとうございます。前回、夜例会をさせていただきまして、いろいろ反省点もあったかなと感じております。

初めはグランドホテルさんでやるという予定で考えておりました。しかし、

グランドホテルさんは食事だけの会は受けないことになっていてお話をいただき、例会を夕方からやるというのが困難になったということで、パレスさんで協力をいただい

てなんとか夜の例会を開催するという流れになりました。前回の例会に出させていただいて、パレスさんにごんばっていただいておりますが、食事の量が大変多いかなと。残すわけにもいかないなと思ひまして、全部しっかり食べさせていただきました。そのあと屋台村のほうで2次会させていただいたのですが、会自体は大変盛り上がり楽しい会でありましたが、お腹いっぱいお酒を飲もうとしたらなかなか酒が入っていかないと。私、お酒を飲む時にはほとんど食べずにガバガバ酒を飲むほうですので、腹いっぱいになってから酒を飲むということは経験的にほとんどないという状況でございました。最初のビールがなかなか入っていかないと経験は初めてさせていただきました、これはこれで難しいことだなと感じさせていただきました。

武田幹事のほうにもいろいろ話がきまして、食事をバイキング形式とかにしたらいいのではないかと、例会は例会で昼にやって懇親会は懇親会で夜にやったほうがいいんじゃないかというふうなお話もいただいたようであります。ただ、この内容につきましては理事会のほうでもう一度相談をさせていただいて、その上で10月、11月の例会の、この夜例会のあり方については検討させていただければと思っております。

夜例会ということで、私としては夜七日町近辺に集まってそのままどこかに飲みに行くという想定で考えて案として出させていただきましたので、当初の私の思いの形にはなっておりません。皆さんにはそういう意味でご不便をかけたことにお詫びを申し上げたいと思ひます。例会に来られた皆さまの中で、飲みに行かれる方とまっすぐ帰られる方がおりますので、ここで夕食をしっかり食べてご自

宅に帰られるという方もいらっしゃるかと思います。その部分も踏まえながらこの問題につきましては検討させていただければと思っております。今回とこの次も夜例会になっております。そちらはパレスさんで会をしてから移動という形にさせていただければと思っております。よろしくご理解のほどお願いを申し上げます。

会長挨拶が内容の説明になりまして大変申し訳ございません。ロータリー月間というものがあります。7月は母子の健康月間、8月が会員増強、そして新クラブ結成推進の月間となっております。ついでに言いますと、9月が基本的教育と識字率向上の月間、そしてロータリーの友月間、10月は地域社会の経済発展、そして米山月間というのが提示されております。

8月は会員増強となっております。今年度、会員増強につきましてはなんとか110名を超えるということで、10名の会員増強をなんとかしていきたいと考えております。担当として長谷川浩一郎委員長のほうには大変ご無理をお願いしておりますが、その中でも今話が出ている方が何名かいるという状況になっております。皆さまのほうからも周りの方の中で可能性のある方がいましたら、声をかける前に、「この人、もしかすると大丈夫かもしれない、ロータリーに入るかもしれない」という話を私、幹事、もしくは長谷川委員長のほうにお話としていただければ、一緒になりながらその入会の推進に努めていきたいと思っております。皆さまの会員増強のご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

武田 良和 幹事

- 会員名簿、最終の校正をお願いしたいと思ひます。後ほど皆さんに回します。よろしくお願い致します。
- 来月のスケジュールのお話をさせていただきます。まず、大津東ロータリーさんがいらっしゃいます。9月5日に球風会。それとチャリティーゴルフコンペが9月22日。9月27日が金沢西ロータリークラブ創立60周年記念式典へ参加。そして9月29日、こちらで7ロータリーの親善ゴルフコンペ。ということで、腕自慢の方、ぜひゴルフをがんばっていただきたいと思ひます。
- 今後の夜例会の運営につきましてはまた柔軟にいろいろ検討を重ねたいと思ひますので、決まり次第また皆さんにご案内いたします。



高橋 勝彦 会員

皆さんこんにちは。本年3月4日に入会させていただきました。高橋勝彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。少しの間皆さんの耳をお貸しいただければ幸いです。

さて、今月の12日の深夜から13日の明け方まで、ペルセウス座流星群がいっぱい見える時間だったのですけれども、ご覧になった方いらっしゃるでしょうか。夜中だったので、なかなか見た方がいいかと思うのですが、私もたまたま夜中起きて、10分くらい星空眺めていたのですけれども、台風の影響もあって、雲が多くて見られないかなと思ったのですが、雲の合間から流れ星1つシャッと見えて、おおラッキーだなと思って見ていたのですけれども、本当に一瞬で、願い事なんかする時間なんかとてもでないけどなかったということをちょっとお伝えしたいなと思ひまして。

それと、先週ですかね、8月20日、スーパームーンということで満月がとてもきれに見える夜だったのですけれども、そのスーパームーンというのが天文学用語では正式な名前ではなくて、大雑把に、なんか満月が大きく見える月だよ、なんて意味合いでよく使われているそうです。今年スーパームーンというのが年に4回ありまして、9月18日、10月17日、10月17日が一番大きく見えるそうです。それと11月16日。たまに星とか月を見ながら気分を落ち着かせるのも良いのではないのでしょうか。

さて、時間もちょっと限られておりますので、本題に入りたいと思ひます。私は、子どもが2人おりまして、中学1年生と中学3年生と、ちょっと反抗期に入りかけた娘2人がおります。なかなか難しい年ごろなものですから、私のほうが、どうやって子どもを育てていったらいいのかな、なんて調べることがあるのですけれども、先日たまたまちょっと見かけたのが、子育て四訓という言葉を知りまして、ちょっとそれを紹介したいなと思ひております。

この子育て四訓というのがいろいろ諸説あるのですが、山口県下関市で長く教育に携わった緒方甫さんという方が提唱されたものとか、もしくはインディアンが昔から伝えてきた言葉とか、いろいろ諸説あるそうなのですけれども、その子育て四訓というのをどのようなものかというのをちょっと紹介したいと思ひます。

1つ目、「乳児はしっかり肌を離すな」。

これは、しっかりと肌と肌を触れ合わせることで、守られている、可愛がられていると無意識のうちに感じる。それが愛情や信頼、他人を思いやる心など、人間形成の基礎になると言われております。

2つ目、「幼児は肌を離せ、手を離すな」。

自立に目覚める幼児期は、周囲のものに関心があり、社会に向けて一歩を踏み出す時期です。常に親がそばにいるか手を繋ぐことで、心配しなくてもいいよという安心感を与えることが大切だということです。

3つ目、「少年は手を離せ、目を離すな」。

友達との付き合いによって社会性が育つ時期なので、手を離し活動範囲を広げてやるべきですが、いろいろな危険があるので目は離してはいけないということです。

4つ目、「青年は目を離せ、心を離すな」。

完全に自立していくために、自分なりの生きがい、進路を歩んでく時ですが、心は離してはいけないということです。いずれにしても子育ての最終的な責任は親にあるという基本を忘れてはいけないということです。

こういった子育て四訓というものがあるのですが、私も頭の中ではわかっていますけれども、つい過保護になったり、成長の過程において任せる部分を持つというのが大事かなということで改めて感じております。これというのは仕事においても同じことが言えまして、新入社員は肌身離さず大切に、独り立ちをさせるときには、手を離して目を離さずなど、子育てに通じることが多いと思ひます。子育ては親育てとも言いますが、言い換えると部下育ては上司育てと考えることもできます。もちろん、親が話す言葉で子どもが言葉を覚えていくように、また、上司のやることを見て部下が仕事を覚えていくように、始めは教育する立場にある人が見習うべき手本を示すことが大事です。そのためには、教える側もお手本を示せるように一緒に努力して勉強していくことが大事だという、そういった関係を築くための言葉だと思ひております。

皆さんの中にも私みたいに子育てに少し苦勞されている方とか、あるいは社員の教育に苦勞されている方、いらっしゃるかもしれませんが、その時には子育て四訓という、今紹介したものを参考にいただければ大変幸いです。私も今後、子どもも社員も同じように教育できるように日々精進してまいりたいと思ひておりますので、皆さんも少し参考にいただければありがたいなと思ひております。

ご清聴ありがとうございました。



内山 秀樹 会員

皆さん、おばんでございます。この5月に入会をさせていただきました清水建設株式会社山形営業所の内山と申します。本日、このような貴重な機会をいただきましてありがとうございます。せっかくの機会でございますので、私の自己紹介と、あと清水建設に勤めていまして、清水建設の歴史や山形との関わりについてご紹介させていただければと思います。

この4月に転勤で山形に着任しまして、会社入社して34年目になりますが、初めての山形勤務となります。生まれは長野県の飯田市、南信州になりますが、その山あいの農家で生まれた者でございます。中学学校まで片道歩いて6キロというような田舎に住んでおりました。大学から東京に出て、そのまま今の会社に就職ということでございます。入社直後は現場の事務などを経験しましたが、会社生活の大半は建築の営業活動をさせてもらっています。直近3月までは本社の営業にありましたが、その前は新潟で長いこと営業をやらせていただいています。今回、山形が2度目の単身生活ということで、皆さまとのご縁を大切にしながら充実したものにしていきたいと思っています。

それから清水建設の歴史に少し触れさせていただきます。清水建設の会社は宮大工の清水喜助という者、富山出身なのですけれども、清水喜助が若くして江戸に下りてお店を開いたのが1804年ということで、その年が創業でございますので今年で220年を迎えさせてもらいました。清水建設が今のこのような規模に拡大する礎となったのが、かの渋沢栄一さんでございます。渋沢栄一さんは明治20年から大正5年まで、30年以上にわたって当社の相談役ということで経営のかじ取りをしていただいた時代がございます。渋沢栄一さんが当社の経営に携わったことで、結果、山形の名建築家との出会いが生まれてまいります。山形が輩出した名建築家御三家、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、米沢出身の伊東忠太さん、それから中條精一郎さん、それから白鷹出身の佐野利器（さの としかた）さん、このお三方です。とりわけこの佐野利器さんは、いわゆるふるさとが生んだ建築界の巨人として建築構造学の開祖と言われているくらいの方で、地震の多いこの日本で近代国家が形成できたのはこの方がいたおかげではないかという、建築系の教科書に必ず出てくるすごいお方でございます。

この佐野利器さんは、なんと昭和の初期に当社の副社長として2年半在籍していただいた歴史がございます。この佐野利器さんを清水に招聘したのが渋沢栄一さんということです。昭和の初期は、当社はそのころ清水家の当主が若くして亡くなるなど経営がちょっと不安定な時期がありまして、それを気にした渋沢栄一さんが当時東大の工学部の教授として名をはせていた佐野利器さんを招聘したと。当初、佐野さんも固辞

されていたようですけれども、渋沢栄一さんは「君が行かなければ清水がつぶれるんだ」ということで強く説得をしていただいて、その結果、昭和4年から2年半、佐野副社長として会社におられたと。当社の社史を見ますと、入社後2カ月で当社の問題点を洗い出し、大きな組織改革を断行するというので、猛スピードで社内改革をしていただいたと。今の組織の原形が佐野利器さんによって築かれたというふうに社史に書かれております。山形が生んだ名建築家が当社の業績、功績、歴史に大きく名を残したエピソードでございます。

それから清水建設の山形での歴史を調べてみました。当社が山形で一番最初に手掛けさせていただいた建物がなんだったのか調べたところ、大正10年、山形銀行さんの前身である両羽銀行さんの本店を当社でやらせていただいたという記録が残っていました。大正12年に竣工するのですけれども、当時では珍しく鉄筋コンクリート造の3階建てで、約1,500平方メートルの規模。設計が先ほど申し上げた山形が輩出した名建築家御三家の一人、中條精一郎さんの設計だということで、ギリシャ風の洋風建築で正面に大きな円の円柱を擁した荘厳な建物だったと記録されています。

その後、当社は昭和22年に山形出張所、昭和57年に山形営業所ということで現在に至りますが、その間、いろんなお客様からお声掛けいただき、施設づくりに携わらせていただいております。今日、この夜例会で使わせていただいているパレス・グランドールさんも清水建設の施工でございます。武田社長、いつもありがとうございます。

現在、うちの山形営業所は約20名県内に在籍していきまして、県内の営業活動、それからこのように手掛けさせていただいた建物の改修・補修・メンテナンス等をやらせていただいています。ちなみに、例えば今後県内で新たな新築工事のプロジェクトが始まる場合は、現有勢力では限りが出てまいりますので、他県から山形に技術者が入ってもらって施工管理を行う形になります。

8月8日にモンテディオ山形さんがプレスリリースをされました。天童に新たなサッカースタジアムを作るこのプロジェクトが弊社と市村工務店さん他との共同企業体に決定という運びになりました。モンテディオさんのホームページにイメージパースや動画も出ておりますので、もしご興味のある方はご覧になっていただければと思います。これから設計作業を始めて、1年後の着工ということになりますけれども、県民の方が注目されるプロジェクトになると思いますので、私どももしっかり県民の方々に喜んで、楽しんでもらえるような施設づくりをしていきたいと思っています。

すみません、いささか清水建設のPRが続いてしまいましたが、私としましてはこのロータリーに入らせていただいている、社会奉仕活動を中心にしっかり行なっていきたいと思っていますので、今後ともよろしく願います。ご清聴ありがとうございました。



松本 定重 会員

皆さんこんばんは。この5月に入会いたしました、明治安田生命保険相互会社の松本でございます。本日はこのような機会をいただきまして誠にありがとうございます。今日は簡単に私のプロフィールと、あと山形に来て良かったことや楽しかったことについてお話をさせていただきますと思います。

1968年、昭和43年8月17日生まれで、先日56歳になりました。出身は神奈川県横浜市南区六ツ川というところでございまして、生まれ育ちました。

現在の自宅は東京都豊島区、池袋の近くでございます。家族は妻と長男と長女と4人家族、それと猫一匹がでございます。長男は結婚しており現在は別居してございます。

小学校中学校をずっと野球をやっておりましたが、高校からラグビーをはじめ、大学、社会人、明治生命でも5年間ラグビーを続けてまいりました。現在は全くやってございませぬ。私自身たいした選手ではございませぬが、大学時代はキャプテンを務めさせていただきなど、ラグビーを通じて多くの素晴らしい経験をさせていただきました。

現役を引退したあとは、首都圏での勤務が多かったのですが、その後長崎や大阪の大岸和田、前任地の大分を経て、今回山形に来させていただきました。これで単身赴任は4回目となって、連続で5年目になります。

人生で初めての東北地方、山形での暮らしが始まりまして、4カ月が過ぎようとしております。あっという間でした。山形を満喫させていただいております。ゴールデンウィークも夏休みも、半分は山形に戻ってきて、1人で過ごしてございます。

観光としましては、近場でございますけれども、山寺ですとか蔵王のお釜と蔵王温泉の大露天風呂、羽黒山、湯殿山、そして山形美術館には2回行っております。最上義光記念館、山響の定期演奏会、また先日行われました霞城公園の花火大会にも家が近くなので行きました。あんなに近くで花火を見ることは初めてだったので、非常に感動いたしました。

また日帰り温泉にもいろいろと訪れていまして、百目鬼温泉ですとか、天神の湯、臥龍温泉、八百防、羽黒町の月山を眺めながらの露天風呂が最高の、水風呂もあります山伏温泉ゆぼか、あと設備充実で水風呂も最高、天童最上温泉のゆびあ、さくらんぼ東根温泉のオオタ湯などいろいろ行ってございますが、私が今

はまっているのは山形市の総合福祉センターにかすみ温泉というのがございまして、これ200円で入浴ができてまして、お湯も結構良く、自宅から近いのでよく行っています。

山形に来てから昼食はほとんど麺類になりました。さまざまな方からご紹介いただいたおそばやラーメン店に行っています。夏季休暇を利用してケンちゃんラーメンにも行きました。10時半前に到着した時点ですでに行列が始まっていました。今私がはまっているのは、蔵王駅近くのそば処きむらの鳥中華です。おつゆが私好みで、最高においしいです。

山形に来ていろいろと良い体験もさせていただいております。その中の2つご紹介をさせていただきます。まず1つ目は、6月15日に当ロータリークラブで行われた、アオモリトドマツの種まき例会です。蔵王連峰のシンボル樹氷と自然景観を未来に継承していく重要な取り組みであり、とても貴重な経験をさせていただきました。実験的にいろいろな間隔で植えた種がどれくらい育っているのか、どの植え方が一番成長しているのか、非常に興味深いところでございます。次回も必ず参加をさせていただきたいと思っています。

2つ目は花笠まつりに出たことです。会社の有志を募って26年ぶりに約80人で参加いたしました。8月7日の最終日でした。当日の昼間、強風と雷雨があり、中止になるんじゃないかと心配しておりましたが、30分遅れでスタートすることができました。当初私はプラカードを持って先頭を歩く予定でしたが、どうせなら踊り手として参加したいと思い、一度踊りの先生に習いまして、その後何回か練習に参加して、なんとか踊れるようになったので、踊り手で参加いたしました。私たちのスタートは20時過ぎでしたが、まだ沿道には多くの観客がいてくださり、私たちの踊りにもたくさんの声援や拍手をいただきました。山形の皆さん、観客の皆さんの思いやりや優しさをひしひしと感じることができ、本当に参加してよかったと思えました。これからも毎年参加しようと思っております。まだまだ行きたいところややりたいこと、たくさんありますが、あと3年半は山形にいられると思っておりますので、山形の魅力をたくさん味わい、全社に広げていきたいと思っております。

また仕事やロータリー活動も一生懸命取り組んで、地域活性化や健康増進など少しでも山形の皆さま方にお役にたてるよう頑張っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

本日出席 (8 / 26)	会員総数	出席会員数
	104名	56名